

2014年5月9日(金) 15:00~16:30

【出席者】

代表取締役社長 土屋 裕弘

代表取締役専務執行役員 経営戦略・経営管理担当 三津家 正之

常務執行役員 営業本部長 村上 誠一

執行役員 経営管理部長 登林 浩司

執行役員 開発本部長 松本 健

執行役員 経理財務部長 田原 永三

【2014年度業績予想】

Q/2014年度の技術導出契約金収入等の内訳を教えてください。技術導出契約金収入等の
上期予想が下期予想より高い理由は何か。

A/業績予想における、技術導出契約金収入等の内訳は、非開示である。ジレニア、インヴ
ォカナのロイヤリティ収入は当面拡大していくが、これらのロイヤリティ以外に、マイルス
トン収入も計上している。

Q/メディカゴの業績予想への影響はいくらか。

A/当面研究開発費が先行することに加え、2014年度は、メディカゴの決算期を変更し、当
社との期ズレを解消するため、15ヵ月分を連結することもあり、50億円以上の営業損失
を見込んでいる。

【国内営業】

レミケード

Q/レミケードに対するバイオシミラーの影響を、2014年度業績予想および中計最終年度に、
どの程度織り込んでいるのか。

A/バイオシミラーの承認内容や薬価が、どうなるのか不明なため、予想が難しい。バイオシ
ミラーが、2014年末に発売されても、病院への採用には時間がかかると見ており、2014
年度の計画には、殆ど影響を織り込んでいない。中計最終年度(2015年度)についても、
大きな影響は無いと思っている。

Q/バイオシミラーの影響は、シンポニーや他の抗ヒトTNF α 製剤にも及ぶのか。

A/レミケードのバイオシミラーは、医療現場では、ジェネリックとしてではなく、新しい抗ヒト
TNF α 製剤として、受け止められるのではないかと予想している。その意味では、レミケー

ド以外の抗ヒトTNF α 製剤にも影響は及ぶと考えている。

テネリア

Q/テネリアの特徴は、市場でどのように捉えられているのか。その特徴が、切替や新規処方獲得に結びついているのか。

A/24 時間効果が持続する、肝臓・腎臓の 2 ルートで代謝されるなどの特徴は、処方して頂いた医師には、実感して頂いている。4 月の売上も伸びてきており、これからも自信を持ってプロモーションをすすめていく。

Q/DPP4 阻害剤の競合が厳しい中、新たに SGLT2 阻害剤も参入したが、テネリアに対してイプラグリフロジンの影響は出ていないのか。

A/メカニズムが違うこと、発売後 1 年間は長期処方が制限されることにより、直接影響は出ていない。

血漿分画製剤

Q/いつまで販売するのか。

A/2014 年度は販売を継続している。今後については、現時点で、お話しできることは無い。

【開発パイプライン】

インヴォカナ

Q/糖尿病性腎症に効くメカニズムは何か。他の血糖降下剤とどこが違うのか。

A/適切に血糖値をコントロール出来るということが、合併症のひとつである糖尿病性腎症の抑制につながると考えている。他の血糖降下剤とどこが違うのかは、現時点では分からない。

Q/糖尿病性腎症の国際共同治験は、ヤンセンファーマシューティカルズ主導のものか？

A/その通り。ヤンセン主導のものであり、当社が参加するかどうかは検討中。

MT-1303

Q/炎症や自己免疫疾患の領域において、他社の開発品が多く存在していると思うが、これからの、単独で開発を続けるのか。

A/MT-1303 が有するプロファイルを臨床的に確認して、今後の判断をしたい。

【中期経営計画】

全般

Q／中期経営計画の数値目標を見直した以外に、次期社長として、何に取り組むのか。

A／構造改革プロジェクトを推進し、さらなる事業の見直しにも取り組む。生産拠点再編についても、既に発表している通り、2017年度末を目処に、2拠点に絞り込む。さらに、米国での事業展開やジェネリック事業についても、明確な方針を打ち出したい。

国内新製品

Q／新製品の販売が苦戦しているように見えるが、その理由は何か？

A／テラビックは、競合品に対して製品力に差があった。レクサプロ、テネリアは、当社としてこれまで経験したことのない、競争の非常に厳しい領域への参入で、立ち上がりに時間を要したが、2014年度以降は、本格的に拡大していくと考えている。

ジェネリック事業

Q／これからどうするのか、次期社長の意見を聞きたい。

A／現時点では、当社のポートフォリオ上、ジェネリック事業を持つておきたいという方針に変更は無い。但し、今回の薬価改定により、ジェネリック医薬品への価格引き下げ圧力も強くなっており、今一度、吟味する時期に来ていると考えている。

【その他】

Q／バイファの状況はどうなっているのか。

A／メドウェイの再発売に向けて鋭意努力している。

以上